

園芸活動便り

今シーズンは2月から3月の気温が高かったため、3月11日には広島で開花前線がスタートし観測史上最も早い桜の開花となりました。昔から日本には「春は苦みを摂る」という言葉があり、苦い春野菜には冬の間に溜まった毒素を出す役割があると伝えられてきました。山菜の下処理は大きく分けて2つあります。タラの芽、ふきのとう、ウド、フキ、うるい、ごごみは水につけ、わらび、ぜんまいは重層をまぶして熱湯をかけ一晩おくとアクが抜けます。天ぷらや佃煮、パスタや中国料理、お肉とオイスターソースで炒めてもおいしいですよ。芋ほり安納芋は蒸かし芋にしてもらいおやつで頂きました「やっぱり芋は美味しいな!」「あまーい!」



押し花 皆さん手際よく慣れてきたのですばるのお庭でとれた秋のお花コスモス、デージーを押し花にしました。



門松、お正月生け花 門松は「年神様が下りてくる目印」1年間の幸せや健康長寿を願うもので、中心の竹飾りの周りを松や葉牡丹・梅などの植物で飾ります。松の葉を和紙で包み水引きや梅の花を飾っても良いですね。飾る時期 12月13日煤払いの日でしたが今は大掃除が終わってから飾るのを避ける日は29日「苦立て・二重苦」縁起が悪く31日「1日飾り」お通夜飾りに似て神様に失礼にあたり飾り付けの日としてよくありません。いつまで飾るもの? 関東では1月7日関西では1月15日が一般的と言われています。もともと松の内は1月15日、鏡開きが1月20日でしたが徳川家光の月命日が20日になり、1月11日が鏡開きとなりました。今年は大きなベースで門松作りに挑戦しました。3階の皆さんと葉牡丹の寄せ植え、4階で松や南天、お正月飾りを挿して共同制作しました。「大きな門松やなあ」「松が入るとお正月らしいねえ」



生け花 大きな花束をいただいたので、お花の名前を調べながら卓上に飾れるように小さな花瓶を選び、思い思いに生けました。花が枯れてくると花柄積んで2週間も楽しめました「いい香り」「本物のお花はいいねえ」



今後の予定 土筆をひいてきたので皆さんで押し花を作成し春を感じる事が出来ました。すばるの桃の桜が今年も満開になりました。駐車場入り口には大島桜と八重桜が植わっています。4月には満開になり北のお部屋からご覧になれます。ベランダでの花見、夏野菜の播種、寄せ植え収穫クラブなど行ってみたいと思います。

★★★ 皆様 今後とも どうぞ 宜しく お願い致します ★★★